

たか いし



<http://www.suginami-school.ed.jp/takaido4shou/>

杉並区立高井戸第四小学校

学び多き6月に

副校長 米山 美智子

今年は、本校では昨年まで春に実施してきた運動会を11月に実施することとなり、この1学期の子供たちは、じっくりと学習に取り組んだり、縦割り班活動で異学年の友達との交流を深めたりと、落ち着いた学校生活を送っているところです。

さて、先日まで2年生の国語の授業に入ることとなり、「たんぽぽのちえ」という説明文の学習を子供たちと一緒に取り組みました。「たんぽぽのちえ」という題名や本文を読んで、「タンポポにはどんな知恵があるのだろうか。」「なぜ、そのような知恵を働かせるのだろう。」「タンポポは、すごい。他の花はどうだろうか。」と、いろいろな問いや感想を子供たちがもちました。国語の説明文を学習していくときには、もちろんその学年に応じた読みの指導目標があります。2年生でいえば、順序や理由を表す語に着目しながら読み、内容をとらえることです。でも、それだけでなく、子供たちにとっても身近な花である「タンポポ」という植物の成長の変化に興味をもったり、説明文を読みながら知恵を働かせる理由を考えたりすることで、植物や生き物への関心が高まり、生活科の学習での観察などの視点も広がっていきます。植物や生き物に対する優しい心も育みたい教材でした。

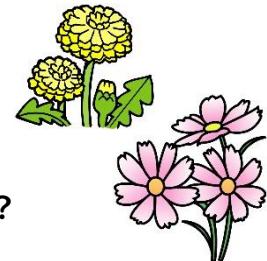
自然に隠された知恵ということで、植物のこんな面白い記事を見付けました。

「ムラサキツユクサ 3」「サクラ 5」「コスモス 8」「マリーゴールド 13」

「マーガレット 21」「マツバギク 34」。さて、これは、何の数でしょう。

実は、これはそれぞれの花の花びらの数です。となると、次に来る数と花は・・・？

花びらの数をよく見ると、あるきまりに従って並んでいることが分かります。



3、5、8、13、21、34、・・・。数列の34の次の数は、55です。ガーベラの花びらが55枚だそうです。もちろん、すべての花がこのきまりに当てはまるというわけではないようです。「アブラナ」や「ダイコン」「ガクアジサイ」などの花は花びらが4枚です。ただ、植物の生きる知恵の一つにこのきまりもあるようです。実に面白いものです。

子供たちにも、何かをきっかけに興味をもったことや、なぜだろう、どうしてだろうと疑問に思ったことを、調べてみたり、尋ねたり、教わったり、試してみたりしながら、自分で問い合わせを解決しようとする力を身に付けてほしいと思います。

6月は、ふれあい月間です。1年生は、連携する幼稚園、保育園の年長さんとの交流会を計画しています。1年生も年長児と交流することで自分たちがお兄さん、お姉さんになったことを実感するとともに、どのように年下の園児に接するとよいのかを考える機会となります。また、5年生は、今年も岩手県江刺のJAのご協力をいただき、バケツと田んぼでお米作りの挑戦が始まります。そして6年生は6月3日から、白樺湖移動教室に出かけ、蓼科高原の大自然を満喫してきます。どの学年も、地域の方々や連携する関係機関の方々など、たくさんのご支援をいただきながら、いろいろなことにチャレンジし、自分で考え、積極的に人、もの、こと、にかかわろうとする学び多き6月になることを願っています。

高四小 安全支援隊による「子ども安全ボランティア 全体会」の開催について

日頃より本校の子供たちの安全の見守りやサポートをしていただき、ありがとうございます。また、今年もたくさんの保護者や地域の方に参加していただけますこと感謝申し上げます。今年度の全体会を高井戸警察の方にもお越しいただき、6月20日（木）に開催いたします。よろしくお願いします。